西尾 舞佳　社会福祉士

清流園 生活支援員（兵庫県）

福祉リレーずいそう

個別支援を考えながら

こんにちは。清流園の西尾です。私は大学卒業後、清流園に入り、３月で６年がたちます。６年という月日は長いようにも感じますが、振り返ればあっという間でした。

私が知的障害者の施設で働きたいと思ったのは、大学生の時の約１カ月間の実習がきっかけでした。それまで経験したことがなかったのですが、利用者さんと一緒に過ごしたり作業したりする中で、毎日新しい発見があり、将来はこのような所で働きたいと思うようになりました。そして気付けば６年間、いろいろな学びや発見をしながら清流園で働いています。

清流園は知的障害者通所生活介護事業所です。私はそこで生活支援員として働いています。利用者さんと一緒に、作業や余暇活動に取り組んでいます。

この仕事をしていて、うれしさやりがいを感じるのは、利用者さんの新たな発見や成長を感じられた時や、自分が考えた支援や活動が成功した時です。働く年数が長くなれば長くなるほど、その喜びを感じる場面が多くなってきたように感じます。

清流園ではこの２～３年「個別に対する支援」をテーマに利用者支援を考えるようになりました。今年度は定期的な研修にも参加させてもらい、まだまだ勉強不足な部分はありますが、改めて障害について、利用者さんの支援について学んだ１年だったと思います。今まで行ってきた支援や、これからはどう支援していけば良いかについても考えることができました。

まだまだ勉強しないといけないことや、発展途上で変えていかなければならないこともありますが、これからも職場の支援員と協力し合って、利用者さんの幸せや楽しみについて考えながら支援していきたいと思っています。また、自分自身さらに成長できるように進んでいけたらと思っています。

（西淡路希望の家の川口友香さんにバトンタッチします）